

算数通信 テーマ：授業のねらいをもって授業に臨む

まず、授業で大事なことは、その時間のねらいをもって授業に臨むことです。あえて言うことではないですね。本号は、その当たり前のことを確実に行うための提案です。それは、「本時におさえることを書き出してみる」ことと、「授業展開のおさえる場面を決めておく」ことです。

2年生、「⑧ 計算のくふう ①たし算のきまり」です。(口内は教科書の内容)

教科書は、次のようになっています。

1 校でいて、1年生が7人あそんでいます。そこへ1年生が12人、2年生が8人来ました。校でいては、みんなで何人いますか。

① 1つのしきに書きましょう。
 $C \quad 7+12+8$

② 計算のしかたを考えましょう。

しほ $7+12+8$
 1年生の人数を先に計算しました。
 ① $7+12=19$
 ② $19+8=$

こうた $7+12+8$
 後から来た人数を先に計算しました。
 ① $12+8=20$
 ② $7+20=$

めあて たすじゅんじょをかえると、答えはどうなるかしらべよう。

③ 2人の考えでもとめた答えをくらべましょう。

まとめ たし算では、たすじゅんじょをかえても、答えは同じになる。

しほさんの考えは、()を $(7+12)+8=27$ つかって、右のようにあらわす。

1年生の人数
 ()はひとまとまりの数をあらわし、先に計算します。

本時におさえること1

2

3

④ こうたさんの考えに $7+12+8=27$
 合うように、右のしきに 後から来た人数
 ()を書きましょう。

たすじゅんじょをかえても答えはかわらないから、
 $(7+12)+8=7+(12+8)$

1 本時におさえることを書き出してみる。

- 1 式の意味を読む・・・(教科書の①②)
- 2 たし算は、たすじゅんじょをかえてたしても、答えは同じになる・・・(新しいこと)(教科書の③)
- 3 ()はひとまとまりの意味を持つ。かつ、先に計算する。・・・(新しいこと)(教科書のまとめ)

2 授業展開のおさえる場面を決めておく。

○ 本時におさえること1

- ① 1つのしきにかきましょう。
 - ② 計算のしかたを考えましょう。
- 式の意味を読む。

○ 本時におさえること2

③ 2人の考えでもとめた答えをくらべましょう。
 答えは「同じになる」と言えるが、さらに深める。

● 「ほかの場合でもそう言えるか？」

$3+7+8 \quad \dots \quad 8+3+7$
 $8+2+6 \quad \dots \quad 6+2+8$

● 各自で調べてみよう。

「たし算は、たすじゅんじょをかえてたしても、答えは同じになる」を確認する。

○ 本時の大事なこと(3について)

$12+8+7=7+12+8$
 $=7+(12+8)$

並びかえる1の2 ()を使う1の3

なぜ、ここまで？
 練習問題に、 $27+18+3$ がある。これを、 $27+3+18$ とならびかえの知識が必要なため。

